

令和元年度 第1回AED講習会

令和元年7月27日（土）、名古屋女子大学南8号館1階多目的室にて「公立陶生病院 中島義仁医師と2名の看護師」を招いて、AED講習会を実施しました。あいにく台風が接近しておりましたが、交通機関も止まっておらず警報も発令されず予定通り開催をし、実業団・社会人クラブ・レディース・学連から14名の参加となりました。

【講習概要と感想】

講義の内容は、最初に座学でバドミントンをしている時でのケガ（アキレス腱断裂・捻挫等）の応急処置の方法や、AEDの使い方心肺蘇生法等を学びました。

その後、4～5人のグループで実際の場面を想定しAEDを使用して、声を掛け合い連携しながら実技を行うことができ、特に心臓マッサージ(胸骨圧迫)を、強く、速く、絶え間なくが大事であることを改めて感じました。

受講者には、終了証とバッジが渡され講習会を終了しました。

心肺蘇生法は5年ごとに更新される（次は2020年）蘇生ガイドラインに基づき、より効果の高い手法に変わっているようです。以前に受講された方でも再度受講されることをお勧めします。次回は11月末頃の開催予定です。



報告者 愛知県バドミントン協会 指導委員会
山田 薫